

平成24年度精華町議会報告会（報告書）

1 開催日時・参加者等

日 時	会 場	参加者数（人）		
		男	女	計
10月19日（金）19時～20時55分	精華南中学校体育館	13	10	23
10月20日（土）19時～21時06分	精華町交流ホール	16	5	21
10月21日（日）19時～20時15分	精華町コミュニティーホール	17	5	22
合 計		46	20	66

2 出席議員（役割分担表含）

	司会者	報 告 者				記録者	出席議員
		予算決算報告	総務教育報告	民生環境報告	建設産業報告		
精華南中学校体育館(10/19)	佐々木	塩井	松田	内海	和田	三原宮崎坪井	森元、村尾、森田、植山、青木、安宅、杉山、奥野、神田、杉浦
精華町交流ホール(10/20)	奥野	塩井	松田	内海	和田	安宅	今方、村尾、森田、植山、杉山、佐々木、神田、杉浦
精華町コミュニティーホール(10/21)	神田	植山	松田	内海	和田	今方坪井	村尾、塩井、森田、山本、安宅、杉山、佐々木、杉浦

3 意見交換

(1)議会報告に対する意見・提言等

Q 介護保険料の33%もの値上げで負担がきつくなっているが、町民の負担についてどんな議論がされているか。

A 保険料の高い分、要介護の給付額が府下でも一番多く、サービスが充実している。今後、国民会議の中で消費税を含めて議論されるので、国の動向を見守っていく。

Q 農業の担い手の予算は、具体的にどういうことか。

A 農業の担い手育成については、荒地が多いので農業の担い手をサポートしていこう、というもの。

Q 8月の災害時、煤谷川は東畑の公民館から上流の所が狭くなっているの、水があふれて公民館がつかることになった。いつまた起こるかかわからないので現地調査をお願いしたい。

A 従来は低い所で被害があったが、今日は中間的な所で被害が発生している。議会としても調査してどこを改修できるか行政に強く申し入れたい。

Q マンションの場合、広域避難場所（学校など）に避難することになるが、そこが老朽化しているとかえって危険な事態になるのでは。

A 学校の耐震化がまだのところは早期に実施を求めている。また、防災計画の見直しもやっている。

Q 祝園西1丁目が集中豪雨で浸水したのは、下水道管が細いことによる。径の太いものに取り替えるべき。

A ガーデンシティの浸水については行政には強く申し入れしている。下水管は下水量にあわせて敷設されている。今回は中間地で浸水があった。祝園西1丁目の一部は早く開発された地域であり、改修を求める。

Q 祝園西1丁目のはの浸水した原因は、マンホールでの吹き出しによるもの。排水路が真っ直ぐ東に抜けるべきところ、90°で曲がる場所が4箇所もあることによる。設計の見直しが必要である。

A 建設産業委員会も指摘している。1日も早く改修を求めていく。

Q JR軌道下の水路の祝園地区2箇所は大雨の水を処理できない。もともとは農業用水路であるが排水も併用しているのが問題である。都市計画税を活用した実効性のある計画を求めたい。

A ご指摘の通りである。行政に求めていきたい。

Q 介護保険事業で平成23年度決算で7800万円の繰越金があるのに繰り入れもせず、1億7000万円の借金をしたのはなぜか。一般会計からの繰り入れをなぜしないのか。そのため保険料が5850円と府一番高くなっている。

A 介護保険料は3年ごとに保険料が設定される制度である。今回保険料が高くなったのは、直近の3年間では介護サービスの積算が甘く、府内で居宅介護サービス利用が一番であったこともあり、1億7000万円借金したので返さねばならない月額670円分も含んでいる。また、一般会計と特別会計は別建てであり繰り入れには限界がある。

Q 介護事業は町でなく民間の競争でできないか。介護保険料は5850円で関西で4番目に高い。また、社会福祉協議会にはもっと頑張ってほしい。

A 介護保険の利用料は均一であり、サービスの質により競争となっている。社会福祉協議会には正しく理解されるよう伝えたい。

Q 国会図書館が存在することを駅前でPRできないか。また、次世代エネルギーの活用、太陽光発電の検討も進めてもらいたい。

A いずれも委員会で意見を出して、行政に申し入れしている。

Q 補正予算にある地域支え合い体制づくりの中味は。

A 予算は1700万円。認知症予防・介護予防、要配慮者体制づくりなどである。詳細は役場福祉課で確認いただきたい。

Q いじめの取り組み・対策は。どんないじめか中味について教えてほしい。

A 大津市の事例をうけて委員会で本町の取り組みの報告を求めた。残念ながら具体的な内容は議会には報告されていない。

Q 学校現場は頑張っておられる。教育委員会との連携は。学研都市ゆえ教育レベルを高めてほしい。

A 教育委員会と学校の情報公開を求めているが、プライバシーに関わることなので公開されない。

Q できるだけ早くいじめを見つけるべき。本町としてはいじめに関するマニュアルにもとづき取り組まれている。コミュニティスクールが開設されていて、道徳教育を通じても実施されている。いじめの件数は。

A いじめの件数は24年4月から7月で小学校2件、中学校3件。うち小学校は1件解決、中学校でも1件である。学校現場は大変ななかで頑張っていると評価している。

Q 2日間(19日、20日)の議会報告会でどんな審議がされたか。

A 1日目は、中学校給食、2日目は、8月14日の水害のことなどが中心だった。

Q 議会報告会の総括は公表するのか。

A 議会ホームページ、議会だよりで報告する。

(2)テーマ別意見・提言等

①学校給食と食育について

Q 仕事しながら子育てをしている者として、中学校給食をぜひとも実施してほしい。前向きに検討とのニュアンスだが、到達点は。平成22年度の文科省の調査によると、中学校の給食実施率は85.4%、完全給食実施率は76.9%、補食給食0.6%、ミルク給食0.8%である。本町の検討状況は。

A 昨年、行政がアンケート調査した。保護者の方は圧倒的に望んでいる。議会としては、全員一致して「完全給食を実施すべき」としている。行政は「食のありかた懇談会」を設置して、実施に向けて給食のあり方を今年度中に示していきたいとしている。平成27年度の精華中学校の建替えと併せて町内平等に実施の方向であるが、ずれ込む恐れもある。

Q 本町は環境もよいし、子どもにやさしいまちづくりにと、がんばってくれている。給食は集団でアプローチするのに一番いいのに、なぜそこでストップするのか。

スピードを速めてほしい。「食のありかた懇談会」に行って話せばいいのだが、働いているので行けない。今、働く女性が増えている。でも、京都府の実施率は低い。中学校に給食がないのはなぜか。中学校給食しているところでは、主食におかず4品とデザートをそろえている。今、それだけのものを用意するのは、家庭では難しい。お弁当を栄養価を考えて作るのはかなりの負担になるし、栄養が偏る。宇治市では、民間委託で調理して給食費も低く抑えられたと聞く。茨城県では、給食センターから運ばれていたが、保温もしっかりしていた。本町でも「私のしごと館」のレストランを使えないか。地産地消もできるのでは。女性だけでなく、お弁当

をつくっている男性もいる。その支援としても実施を。

A 今、生徒数がピークだが、西中では増えている。精華台5丁目の開発をみても今の人数が続く。議会は給食が必要だと認識しているが、行政はさまざまな事情でそうはいかない。保護者の声をぜひ行政に届けてほしい。行政は、従来は「愛情弁当論」だったが、今は給食実施の方向で考えている。今年度中に一定の方向性を考える、としている。どんな方向性でやるのかご意見をお聞かせください。

Q 校区ごとに給食センターをつくれば、将来的には高齢者の給食センターにもなりうるのでは。自校炊飯は大切だが、私らにとっては、もっと早く実施してほしい。センター方式でも段階的に実施すればよい。野菜をスープ形式にするのも考えてほしい。

働く女性が増えているが、京都は普及度が低い。生まれ育った茨城県では、中学校給食が実施されている。季節に合わせた献立で栄養も考えている。弁当では偏りが出てしまう。民間委託によって安上がりになれる。中学校給食の実施で就業率をアップできる。

A 町は実施の方向であり、どんな給食にするのかが問われている。

Q 地産地消の取り組みで、もっと学校給食に地元農産物を活用してほしい。現在、学校にどの程度納入しているか。

A 13品目（たけのこ、青とうがらし、なすび、サツマイモ、大根等）。学校給食全体に対する活用比率はわからないが月1、2回の学校給食で供給している。委員会としても推進していく。

Q 食育をする上でも、体験農業は教育上必要であるが、学校間に格差がある。農機具の確保も必要。

A その旨しっかり言っていきたい。

②地域福祉活動について

Q 山田地区に介護施設を設置する予定であったのが、調整区域のためダメになった。調整区域の方が地価が安く「特例」が適用されるべきだ。

A 府の所管部署が違う場合もあり、事前の調整が大切である。

Q 認知症の徘徊が大きな問題であり、サポーター制度を町として取り組んではどうか。

A サポーター養成講座を社会福祉協議会で取り組むなど大いに力を入れる。

Q 認知症が増えているなど、東畑は限界集落に近づいており、いずれは共倒れの心配がある。地域みんなで支えあっていくことが大切だと思うが、どうか。

A 認知症を早めに発見するよう医療と連携し、京都式包括ケアシステムで取り組むよう要望していく。

Q 今、特別養護老人ホームは150人から200人待ちという現状がある。特養の建設に力を入れていただきたい。

A その方向で努力する。

③交通網全体について

Q こどもたちの通学路が心配だが、交通安全施策は。できるかぎり横の連携をとってとりくんでほしい。

A 教育行政の方も亀岡の事故を教訓にして、かなり詳細に検討している。委員会としても強く要望している。

Q それで安全になるのか。できるものは。

A 6月に詳細の報告があり、要望箇所のできるところはカーブミラーの設置など実施されている。なお、府道や交通機関（JR・近鉄）については先方との協議が必要である。

Q 危険な現場は通学時に見てほしい。

A 努力します。

Q 交通指導員が少ない。増やしてほしい。

A 要望として受けとめます。

4 アンケートの集計結果

- ・アンケートの回答者数 45人（うち、男性35人、女性9人、無記入1人）
- ・アンケート回答者の年代、

40歳代	1人
50歳代	5人
60歳代	22人
70歳代	16人

 （無記入 1人）

	回覧	議会だより	議員・知人紹介	無記入
①参加のきっかけは	9人	7人	22人	7人
	よい	わるい	無記入	
②開催の時期は	37人	4人	4人	
③開催の時間帯は	36人	6人	3人	
④報告会の内容は	35人	7人	3人	
⑤議会報告会の資料は	37人	—	8人	
	評価する	どちらともいえない	評価しない	無記入
⑥議会報告会の評価は	28人	6人	2人	9人

(1)設問に対する意見

設問②「開催の時期は」

- ・土日昼間が参加者多い気がする。
- ・多数集まってもらえる工夫を。

- ・ 9月頃。
- ・ 農繁期であり時期が悪い。

設問③「開催の時間帯は」

- ・ 日中の時間帯がよい。
- ・ 午後7時は家庭では忙しい。
- ・ なるべく昼の時間。
- ・ 昼1時から。

設問④「報告会の内容は」

- ・ 前2回より改善された気がする。
- ・ もう少し詳しく説明をしてほしい。
- ・ 具体的な事例を挙げて説明してほしい。
- ・ 御苦勞されて議決されていることが多いと思いますが、反対意見、御苦勞された項目を中心に説明されてはどうでしょう。
- ・ 通りいっぺんの報告でただよんでいるだけ。

設問⑤「議会報告会の資料は」

- ・ この程度の分量でよいが、表現として町のかかえる問題点をリアルに出す方法はないか。

(2)意見交換のテーマで、お気づきになった点、発言できなかった事項など

①学校給食と食育について

- ・ 中学校給食の完全実施を早急に進めてほしいと切実に願っております。
- ・ 食のあり方懇談会の下部組織としてでもよいが、住民を交えて意見を反映するようにできないか。住民がもっと参加して協力できるようにすべきです。
- ・ 司会者が議員の言い分を繰り返すすぎる。
- ・ 食のあり方懇談会の委員選定をオープンにして傍聴人にも発言権を。
- ・ 中学校の完全給食の早期実施に向け行政に働きかけ実現させる。
- ・ 義務教育内の給食実施は議論の余地はない。未実施から脱却をいつまでに行うのか、の意思決定が先決。議会は行政に実行させる具体的な努力と方策が必要。給食の方式については、その期限に合わせて町民合意を図ること。あり方論と実施可否を天秤にかけないことが大事。
- ・ 中学生の人格を尊重し、子供の意見に基づき進めるべきである。親の立場で進めるべきでない。中学生になれば充分判断能力はある。
- ・ 調味料の配布は入札であります。入札落札物件が通常に発注されていないのではないかと、なぜか。
- ・ 議会としての考え方を先に発言し、住民に方向がどうかの発言をしていただく方法で実施してほしい。
- ・ 給食はセンターにしてほしくない。子供たち（児童・生徒）のため温かい食事を提供する自校方式で実施してほしい。
- ・ 生産時期と量産手法をはっきりさせて。
- ・ 地産地消を進めていく中で、必要なものと必要な量をはっきりさせて、各家庭でどれ位の物と量が供給できるのか等の互いの調整できるシステムができていればより効果が出ると思

うので、行政での対応を要望します。

- ・平成27年より早くスタートできないか。

②地域福祉活動について

- ・地域福祉計画策定以降のアクションプランがよく見えない。(せっかくすばらしい計画をつくったのに)
- ・地域福祉の定義、概念は。一般の認識は統一されているか。A「精華の福祉」、B「町民、住民の福祉のための活動」。国などがいう「新しい公共」に踊らされない展開が大事。住民同士が繋がれる環境・条件づくりこそ行政と議会の役割と思う。
- ・市街化調整区域で老人福祉施設が立地できないと聞かすが、事業を企画される側は投資する資金にも限度がある。強く議会・行政が一体で府へ働きかけてほしい。
- ・地元の議員の活動ともっと一体化・理解が必要。
- ・特別養護老人ホームを建設してほしい。

③交通網全体について

- ・町南部はほんとうに不便です。運転免許がなく(私72歳)、かしのき苑やむくのきセンター・役場等本当に行きにくい。病院は町外に行く。かしのき苑に行っても帰りのバスがなくどうしようかと思ってしまう。高の原駅が中心となり大阪や奈良、京都へ出かけてしまいます。
- ・福祉バスとしての延長のくるりんバス運営姿勢から、高齢社会対応、地域交流促進の理念へ転換した計画が必要。
- ・国道163号、八幡・木津線の歩道、自転車の完備のための計画が必要。
- ・通学路の安全確保。
- ・防犯灯のエコ節電はやめてほしい。
- ・通学路の安全確保に力を注いでほしい。

(3)議会報告会の内容に関する意見

- ・議会報告会の内容は書面で充分理解できます。普段、議会は縁遠いと思われている。若い女性が子供の給食・食育問題について熱心な討議がなされ、町議会議員をより身近に感じられたのではないか。
- ・出席議員(オブザーバー参加含めて)が自由に発言できる懇談の雰囲気作りも大切。
- ・住民の参加を多くする工夫は、ホームページ、町内回覧だけで済まらず創意や工夫が必要。第1は参加すれば得るところが多い、というひきつける中身づくり。
- ・会場が集まりやすい場所がよかった。質疑に丁寧に対応していただいてありがたかった。会場の音響の反響が悪く、マイクを通しての発言が聞き取りにくかった。至急改善を望む。
- ・23年度に比べ参加者が多く、報告会開催の努力をされたことは評価します。
- ・委員会の報告の中で会議名次第の報告重点の人がいたが、議会として課題や指南した点など取組み、方向で報告してほしい。
- ・災害や介護保険料の問題があったこともあるが、第1回、第2回と比べ説明・質疑とも大分よくなったと感じます。
- ・テーマ設定も一方法としてよかった。今後も積み上げられたら良いと思う。(テーマは、議

会としての課題、住民としての課題。) 時間配分的に短かったのが惜しかった。

- ・安心安全の町づくりを期待する住民であります。狛田駅中の開発は進められていますが、採択したと結果報告は10年前から同じ答えを載っておりますが、はっきりした予定を住民に提示してほしい。下水道が先か開発が先か。東側の区画整理が終了すると同時に駅中の開発を考えてほしい。
- ・議会として一連の流れを説明して言葉を並べているだけで、自分たちがどのように考え、また行政に対して発言と質問、問いかけをしているかが不明のため理解できない。
- ・報告会資料に基づき各委員長が報告をされたあとに、質疑ありませんかと急に問われても出てきません。可能ならこの資料を10日前ぐらいに配付され、質問のある方から事前にその内容を調査されてはいかがでしょうか
- ・第2部の意見交換のテーマの決め方についてですが、例えば学校給食については、こんな問題がありますがどうでしょうかなど具体的な問いかけが必要ではないでしょうか。
- ・終了が8時15分でした(予定は9時)。時間が余ったので「その他で別に質問ありませんか」と聞いてほしかったです。

(4)町議会全般についての意見

- ・新旧地域別々の議会報告会をできれば。
- ・議員の人数は適正ですか。
- ・本議会報告会が、一種のセレモニーに終わることのない様に実のあるように願う。
- ・煤谷川河川改修が毎年少しずつ進められております。下流の方の川原橋が昨年9月に完成しておりますが、なぜか1年2カ月たっても通行できない。どうなっているのか。また、滝ノ鼻の集会所の前のコンクリート塀が作られましたが、さっぱり何かわからない。また、右岸側の整備が2カ所進められている。中途半端な開発はだめだと思います。
- ・議会議員は自分の立場と住民より伺いを求められ、また、伺いを代弁しているかを十二分に対話をして議会に反映してほしい。
- ・議会報告会の形式で会派別に集会所でもっとタウンミーティング的にできないでしょうか。